

学校評価アンケート結果分析（まとめ）

学校評価小委員会

＜生徒アンケート結果について＞

A（満足度） 肯定的な意見が 91%と、昨年度（94%）よりはやや低いものの非常に良い結果である。コロナ禍での新しい「学校」生活様式に、生徒がよく順応できていると言えるだろう。一方で、否定的な意見が若干増加しているので、全教職員で生徒をこれまで以上にしっかりと見守るよう心掛けたい。
B（学校行事） 89%（昨年度 96%）の生徒が肯定的に回答している。昨年度よりも実施できた行事が増えたにも関わらず、肯定的な回答は若干減少した。制限のある中での行事の運営に、一部不満の声も見られたが、全体としては充実した学校行事であったことがうかがえる。
学C（学習面） 肯定的な回答が全体の 77%（昨年度より 6%増）。積極的に学習を行う生徒が多くなってきているが、100 人以上の生徒が否定的な回答であることも見逃せない。学校全体として、より学習に向かう雰囲気醸成に努める必要がある。
学D（週末課題） 肯定的な回答が全体の 73%（昨年度より 3%増）。新校に向けて、両校での共通理解を図りながら、課題の量の教科間での調整や、休日の適切な時間の使い方の指導を行っていくことが必要である。
学E（長期休業中の課題） 肯定的な回答が全体の 81%（昨年度より 2%増）。生徒からの意見も踏まえて、新校における課題について、両校での共通理解を図る必要がある。
学F（土曜日の学校開放） 肯定的な回答が全体の 59%（昨年度より 3%減）3 年生では、利用する生徒が一定数あるが、1、2 年生に関しては、学校開放を利用する生徒は少ない。新校での実施の有無や実施方法等について検討が必要である。
進G（平日課外） 肯定的な回答が 71%（昨年度より 4%減）。積極的に課外を活用している生徒と、自学を中心に学習をしている生徒に分かれているようだ。自修室を常に活用している生徒もいるなど、3 年生はそれぞれの学習スタイルに合わせた学習を行っているようだ。
学H（土曜講座） 肯定的な回答が全体の 54%（昨年度より 12%減）。土曜講座の実施内容についても生徒からの様々な意見があるため、新校での実施有無や実施方法等について検討が必要である。
進I（夏季課外） 肯定的な回答が全体の 68%（昨年度は実施せず）。今年度は、統合に向けて 1、2 学年で、内容や実施教科を見直した。今年度の実施内容を検討し、統合新校につなげたい。
進J（進路意識） 肯定的な回答が全体の 95%（昨年度と変化なし）。進学に関する意識は高い。どのような時期に、どのようにきっかけを与えるのか、あらためて統合新校に向けて検討したい。
進K、L（進路資料） 肯定的な回答が全体の 89%（昨年度と変化なし）。生徒が参考資料として活用していることがわかる。統合新校では、書式も刷新して、より使いやすいものを目指して制作したい。
進M（コース説明会） 肯定的な回答が全体の 84%（昨年度より 7%減）。内容は昨年度と変わっていない。昨年度はコロナの影響で、コース選択や文理選択にかかわる情報を提供する機会が少なかったことが関係しているのかもしれない。生徒の進路選択と合わせて、より生徒の役に立つ内容にしていきたい。

<生徒アンケート結果について>

進N（学問への招待）
肯定的な回答が全体の 81%（昨年度より 9%減）。昨年度はコロナの影響で、大学からの情報の発信が少なかったが、今年度は大学側も様々な対応を行っていることが関係あるのではないかと。また、コロナ感染の第5波が重なり、対面での講義が減ったことも関係があるのではないだろうか。
生O（足女生としての品位）
肯定的な意見が 90%（昨年度 92%）で、これまで同様高い水準である。
生P（遅刻・欠席・早退）
肯定的な意見が 96%（昨年度 96%）で、ほとんどの生徒が真面目に登校している。
生Q（頭髪服装指導）
肯定的な意見が 100%（昨年度 98%）となり、さらに生徒の自律意識が高まっている。
生R（交通安全指導）
肯定的な意見が 99%（昨年度 99%）。交通事故は、昨年同時期に比べ 2 件減。次年度は登校する場所が変わり、特に年度当初には混乱が予想されるので、これまで以上に日頃の指導を行っていききたい。
S（清掃指導）
肯定的な意見が 98%と、昨年度（99%）同様に生徒の意識が高い。「塵ひとつない足女にしよう」といった啓発ポスターを貼るなどして、美化委員会が積極的にはたらきかけていることも特筆できる。
T（防災意識）
「3. どちらかと言えば当てはまらない」「4. 当てはまらない」「5. わからない」と回答した生徒が一昨年は 16%、昨年は 12%、今年は 15%で例年並みである。昨年の避難訓練は、コロナ感染症の影響で 1 回の実施であったが今年度は 2 回実施できた。
生U（教育相談）
肯定的な意見が 82%（昨年度 83%）。学期ごとのアンケートで生徒の悩み事を把握し、係や委員会で迅速に対応できている。今後も小さな声を逃さないよう注意していききたい。

<保護者アンケート結果について>

A（満足度）
肯定的な意見が 95%となり、昨年度（94%）以上に極めて高い満足度である。統合新校においても同様の意見が得られるよう、今後も努力する必要がある。
B（関心度）
肯定的な意見が 95%となり、昨年度（93%）以上に極めて高い関心度である。足女高最後の 1 年・次年度は統合新校になる、といった情勢によるところも大きいと思われるが、保護者の方々が本校卒業後のご息女の未来に強い関心と期待を寄せている証左とも言えるだろう。
C（学校行事）
83%（昨年度 89%）の保護者が肯定的に回答している。昨年同様、行事の縮小や中止が影響しているものと思われる。
学D（週末課題）
肯定的な回答が全体の 84%（昨年度より 1%増）。生徒の学習に活かせるよう課題の質と量を担保していききたい。
学E（長期休業中課題）
肯定的な回答が全体の 89%（昨年度より 4%増）。今後も継続する一方で、生徒の実態に応じた課題の提示が必要である。
学F（土曜開放）
肯定的な回答が全体の 75%（昨年度より 1%減）。生徒に比べ、保護者からは学校開放についての肯定的な意見が多い。これを踏まえ、新校でのあり方を検討していく必要がある。
進G（平日課外）
肯定的な回答が全体の 81%（昨年度と変わらず）。ただし、足利高校は実施していないので、次年度以降については、検討する予定。

<保護者アンケート結果について>

学H（土曜講座） 肯定的な回答が82%（昨年度より2%減）。生徒の肯定的な回答54%と対照的である。保護者が学校に寄せる期待と生徒の実情のバランスを取りつつ、新校での実施等について検討する必要がある。
進I（夏季課外） 肯定的な回答が全体の89%（昨年度は実施せず）。今年度は、統合に向けて1、2学年で、内容や実施教科を見直した。今年度の実施内容を検討し、統合新校につなげたい。
進J、K（進路資料） 肯定的な回答が全体の86%（昨年度と変わらず）。生徒・保護者が参考資料として活用していることがわかる。統合新校では、書式も刷新して、より使いやすいものを目指して制作したい。
進L（進路説明会） 肯定的な回答が全体の86%（昨年度より3%増）。生徒の進路選択と合わせて、より生徒の役に立つ内容にしていきたい。
進M（進路講演会） 肯定的な回答が全体の83%（昨年度より5%増）。近年、大学入試の状況が大きく変化してきている。保護者に新しい情報を提供し、家庭における生徒の指導に役立つ内容にしたい。
生N（遅刻・欠席・早退） 肯定的な意見が88%（昨年度89%）。多くの保護者から理解をいただけていると思うが、コロナ禍での出欠等について、生徒の安心・安全に寄り添った指導を心掛けていきたい。
生O（頭髪服装指導） 肯定的な意見が89%（昨年度90%）。保護者からの理解が得られているものと思われる。
生P（交通安全指導） 肯定的な意見が88%（昨年度87%）。次年度は登校する場所が変わるため、年度当初の混乱が予想される。「8の日交通指導」等の立哨指導を十分に行っていききたい。
Q（防災教育） 「5. わからない」と回答した保護者が17%（昨年度19%）であった。本校の取り組みを積極的に広報していくとさらに理解が進むものと思われる。
生R（教育相談） 肯定的な意見が84%で昨年度と同様である。今後も保護者との連絡を密にして、問題の早期発見・早期対応に努めていきたい。

<職員アンケート結果について>

全A（学校行事） 100%（昨年度100%）。全ての職員が肯定的に回答。「1. 当てはまる」と回答した職員が70%であった。開催された行事について、制限がある中、感染症拡大防止に留意しながら、生徒と教職員が協力しながら充実した行事の運営がなされたと言える。
学B（学習に関する基本調査） 100%が肯定的。新校では、スタディーサポートで実施する予定。
学C（土曜開放） 肯定的な回答が82%（昨年度と同様）新校に向けて、職員の共通理解を図りながら、実施方法等について検討していく必要がある。
進D（平日課外） 肯定的な回答が全体の63%（昨年度より11%増）。昨年度より7時間50分授業になり、課外の開始時刻が4時30分になった。勤務時間にかなりの影響があり、次年度以降は検討が必要である。
学E（土曜講座） 肯定的な回答が76%（昨年度より13%増）。新校に向けて、両校職員の共通理解を図りながら、実施の有無、方法、内容等について検討していく必要がある。

<職員アンケート結果について>

進F（長期休業中課外） 肯定的な回答が 82%（昨年度より 3%増）。3 学年での実施科目や方法について、前向きなご意見をいただきました。統合新校に向けて、検討したい。
進G、H（進路資料） 肯定的な回答が 97%（昨年度と変化なし）。統合新校では書式も刷新し、生徒の個人情報にも配慮しながら、より使いやすいものを目指して制作したい。
進I（志望校検討会議） 肯定的な回答が 76%（昨年度より 1%減）。足利高校の実施方法が本校と異なっている。また、12 月の志望校検討会議は、2 学年の修学旅行が例年の実施日と重なっている。次年度以降の実施方法については、よく検討する必要がある。様々なご意見をいただきたい。
進J（教員用進路指導資料） 肯定的な回答が 85%（昨年度より 7%減）。今後、より見やすい資料の検討を行いたい。また、教員は、Benesse High School Online を活用して、より精細な情報の分析をしてもらいたい。
進K（学問への招待） 肯定的な回答が 100%（昨年度より 8%増）。コロナの影響で、来校できる大学教員に制限があり、例年と比べて希望通りにならなかった面がある。また、次年度は教室や生徒の数の関係で、本年度と同様の実施は難しく、今後、より良い方法を検討する。
生L（遅刻・欠席・早退） 肯定的な意見が 94%（昨年度 95%）。
生M（頭髪服装指導） 肯定的な意見が 88%（昨年度 90%）。
生N（交通安全指導） 肯定的な意見が 91%（昨年度 100%）。次年度は登校場所が変わり混乱が予想されるので、立哨指導等を今まで以上に行っていく必要がある。
生O（教育相談体制） 肯定的な意見が 94%（昨年度 95%）。係の先生と当該担任・顧問の先生の協力のもと、問題の早期発見・早期対応が出来ている。今後も同様に、生徒に寄り添う態勢を取っていきたい。
生P（いじめ防止体制） 肯定的な意見が 97%（昨年度 100%）。定期的なアンケート調査や日頃の観察により、全体で対応することができている。
全Q（防災教育） 97%（昨年度 97%）の職員が肯定的回答しており、100%とはならなかったが、良好な結果であると言える。今後も学校全体で防災意識の高揚をはかっていくことが大切である。